



日野市立日野第四中学校
学校便り

令和7年 3月25日発行
校長 小島 幸子

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 2-42
Tel.042-583-3905 fax042-583-3915

第52回卒業式を終えて

校長 小島 幸子

先日19日に第52回卒業式を迎え、とても心温まる卒業式となりました。1、2年生と一緒に取り組んだ卒業式予行では、3年生は自分たちの卒業式を心に残る式にしたいという気持ちを伝え、呼び掛け、真剣に取り組む姿を見せてくれました。式当日は3年生と2年生の気持ちが一つとなり、素晴らしい大合唱が体育館に響き渡りました。

1・2年生は修了式の後、12日間の春休みを過ごし、いよいよ4月からは新入生を迎えます。一学年上がって進級した皆さんは、新入生にとってどのような先輩になっていこうと思いますか。今日までの日野四中の生徒たちが脈々と取り組んできた物事に取り組む姿勢、周りの人と協力して課題を解決したり、また、必要な情報をつなぎ合わせて「新しいこと・もの」を創ってきました。みなさんにもこのような取組を続けてほしいと思っています。

さて、これからの未来社会では、これまでに人類が経験したことのない「未知の課題」が多く出現してくると言われています。人工知能が人間の知識に並ぶことができるようになると、学校で学ぶ「知識」の意味や、皆さんが社会に出てからの働き方に大きな変化をもたらすと予測されています。複雑な状況変化の中でも対応できる柔軟性がもとめられます。学校では、このスキルを身につけられるように、「主体的・対話的で深い学び」をもっと進めていきます。中学校時代は、未来社会に向けた準備期間です。充実した学校での学びの時間を送ってほしいと思っています。

ですからさらに、皆さん一人一人に心がけてほしいことがあります。それは、これから出会う「未知の課題」に、まずはやってみようとする「実行力」を発揮し、そして最後までやりきる「突破力」も身に付けてほしいと思っています。自分のために良いと思われることには、躊躇せず全力で行ってほしいと思います。「失敗してしまうかなあ」「うまくいかないかな」「無理かな」と考えることもあると思いますが、まずは実行してみましょう。そして成功するまで粘り強くやり続けましょう。学校生活の中で、これらを実践するために、たくさんの失敗をしてください。失敗は人間を成長させます。海外では「若い時に、たくさん、上手に、失敗しよう。そして、前向きに行動すること。」という表現があります。失敗なくして成長はありません。失敗を認め、反省して、皆で協力して最後まで精一杯取り組んで「前に、前に」進んでほしいと思います。けれども注意しなくてはならないことがあります。それは「失敗を素直に認める」こと。学校は失敗をして良いところです。失敗したなと気づいたら、潔く「ごめんなさい」と謝って、そして二度と同じ失敗をしないようにすること。ぜひ、1、2年生には新入生の先輩として、このような精神をもって物事に取り組む姿勢を示し、素敵なお手本となってください。みんなの力で、日野四中をもっと魅力あふれる環境にしていきたいと思います。



地域の方々に準備いただいたお花

日野市書初め展、日野市緑と清流ポスター受賞作品の展示

日野市書初め展や緑と清流ポスター展で多くの作品が入賞しました。校内に展示している作品の一部をご紹介します。



卒業式予行の様子

3月14日（金）に卒業式予行を行いました。

当日は参加できない1年生も含め、全校生徒で実施しました。予行終了後に、東京都美術展の入賞者と体育優良生徒の表彰を行いました。



四中生の活躍の紹介（敬称略）

【東京公立学校美術展覧会】出展者 3年生

【体育優良生徒】 3年生

【薬物乱用防止標語の部】

会長賞 1年生

東京都佳作 1年生

【吹奏楽部】 東京都中学生アンサンブルコンテスト 管楽六重奏 銀賞

【バドミントン部】

日野市民体育大会 準優勝

第3位

東京都中学生バドミントン大会日南地区冬季大会 第3位

【テニス部】

戸吹スポーツ公園冬季女子中学生テニス大会 シングルス準優勝 2年生